



株主の皆さまへ


# 第160期 事業報告書


平成17年4月1日～平成18年3月31日





トップメッセージ 

フォーカス 

トピックス 

業績の概況(連結) 

財務諸表(連結・単体) 

会社の概況・グループ会社の紹介 



あつたかを、あなたに、街に、そして未来に。

## 北海道ガス株式会社

証券コード9534

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第160期の事業報告書をお届けするにあたり、皆さまのご支援に対し心より厚くお礼申し上げます。

ご高承のとおり、当期におけるわが国経済は、原油価格の高騰などの懸念材料がありましたものの、企業収益の改善等を背景に、民間設備投資や個人消費に加え輸出・生産においても緩やかな増加がみられ、雇用情勢も上向くなど、景気は回復基調で推移いたしました。

一方、エネルギー業界におきましては、来年4月に改正ガス事業法による更なる自由化範囲の拡大が予定されるなど、規制緩和の進展によるエネルギー間の競争が一層激化することが予想されます。

このような状況の中、当社におきましては、平成8年より安全かつクリーンで供給安定性に優れた北海道産天然ガスへの転換作業を進めており、昨年までに札幌、千歳、小樽地区の天然ガス化が完了いたしました。本年2月には函館地区向け天然ガスの受入基地であります函館みなと工場が竣工すると共に函館地区の天然ガス転換作業を開始し、年内に完了する予定となっております。今後も引き続き安全かつ確実に作業を遂行してまいります。

営業分野につきましては、天然ガスの価値増大を図る新たなエネルギーサービス事業としてコージェネレーション等の設備を持ち込んで電気や冷温熱を作り、お客さまに低コストで供給するESP(エネルギー・サービス・プロバイダ)事業を担う株式会社エナジーソリューションを設立いたしました。また家庭用分野におきましては、ガスマイホーム発電という新たな需要を切り拓く家庭用コージェネレーションシステム「ECOWILL(エコウィル)」や省エネルギー型ガス床暖房・給湯システム「Fact(ファクト)」がお客さまよりご好評をいただい



サツラク牛乳を製造されている株式会社ミルクの郷様は、天然ガスボイラによるESP事業をご採用いただいております。

ており、市場シェアは着実に増加しております。また、北ガスブランドのリフォーム事業設立による既築家庭用市場の競争力強化、CS(お客さま満足)向上のための全社活動などにも力を注いでまいりました。これら営業分野の取り組みをより効果的に行うために、北ガスグループ各社の連携を一層強化し、グループ全体としてのエネルギーシェア拡大に取り組んでまいります。

商品開発につきましては、このたび国家プロジェクトであります「平成18年度定置用燃料電池大規模実証事業」への参画が決定いたしましたことを受け、当社では、早期の市場導入を図るべく実証実験を通じ、設置性、省エネ性を追求した寒冷地用燃料電池の開発を推進してまいりたいと存じます。「エネルギー資源を効率良く利用できる環境効率性に優れた機器・システムの開発」を通して、北海道の豊かな自然を守り、環境保全に貢献し、地域社会の発展に寄与してまいりたいと存じます。

本年4月には道東地区初の事業拠点であります北見支店を開設いたしました。道東圏の中核都市である北見市への進出は、北海道における天然ガスの普及拡大、当社の今後の事業展開にとって大変意義深いものであると存じます。

地球温暖化をはじめとする環境問題への意識の高まりや、原油価格高騰等により、北海道における天然ガスの評価が高まっております。今後とも、様々なお客さまニーズに真摯にお応えしていくことにより、天然ガスを北海道のエネルギー・スタンダードとして認知いただき、北ガスグループの企業価値を高めてまいり所存です。

株主の皆さまにおかれましては、当社の取り組みに対するご理解を賜りますとともに、今後とも変わらぬご指導・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

代表取締役社長 前泉 洋三



# FOCUS

「函館みなと工場」が竣工

## 内航LNG船「NORTH PIONEER(ノースパイオニア)」号が天然ガス輸送開始

本年2月より函館地区への天然ガス供給を開始しておりますが、その原料であるLNG〔Liquefied Natural Gas(液化天然ガス)〕の受入基地として建設中であった「函館みなと工場」が本年2月竣工しました。

またLNGを輸送する当社専用内航船も完成しました。その名も「NORTH PIONEER(ノースパイオニア)」号、北海道における天然ガスのパイオニア企業を目指す当社にふさわしいネーミングになりました。

本船は全長約90m、総トン数約3,000トン、約1,000トンのLNGを運ぶことができ、購入



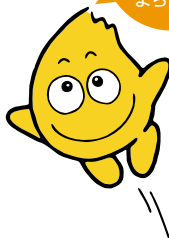
函館みなと工場

先である東京ガス株式会社様の袖ヶ浦工場(千葉県)から「函館みなと工場」までの約1,000kmを月2~3回のペースで運航します。

天然ガスはマイナス162度まで冷やすと

液体のLNGとなり、体積が気体の天然ガスの約600分の1になるため、輸送効率が上がり大量輸送が可能となります。将来にわたり函館地区への安定した天然ガス供給が実現します。

ノース  
パイオニア号  
です。  
よろしく!



内航LNG船「NORTH PIONEER」号

# 新リフォームブランドが誕生 北ガスグループが快適な住まいづくりを トータルにサポート

KITAGAS

# リフォーム! リフォーム!

ガス温水式床暖房や浴室暖房乾燥機、

ガラストップガスコンロなどリフォーム向けガス機器の販売促進によるガス需要の拡大を目指し、新ブランド『KITAGAS リフォーム!リフォーム!』が昨年10月からサービスを開始しました。

総合窓口として、北ガスショールーム「サガティック」(サッポロファクトリー1条館3F)内に「リフォーム!リフォーム!デスク」を新たに



水回りから暖房まで、北の暮らしを知りつくしている北ガスだからできるリフォームのトータルサポートデスクです。

トータルに  
リフォームを  
お手伝い  
します。



設置しました。リフォームプランナーが、最新のガス機器選びからバス・キッチン・リビングなど、お客さまの声を具体化した空間づくりまで、ワンランク上の生活を提案します。

リフォームは需要が高まる一方、業者選びが難しいという声も少なくない今、『KITAGAS リフォーム!リフォーム!』は、お客さまに安心してお選びいただけるブランド、お客さまに快適な生活と満足を提供できるブランドを目指していきます。



キッチンはもちろん、リビングルームやバスルームまで、トータルにリフォームをご提案いたします。



# FOCUS

## 道東地区における初の営業拠点 北見支店を開設

北見市の都市ガス事業を譲り受け、本年4月に北見支店を開設し営業を開始しました。

北見地区は、札幌地区、小樽地区、函館地区、千歳地区に続く5番目の供給エリアで、北見支店は道東地区初の営業拠点となります。

北見支店では、「都市ガスの安定供給」「保安の確保」「サービスレベルの維持・向上」に全力を傾けると共に、



新聞広告

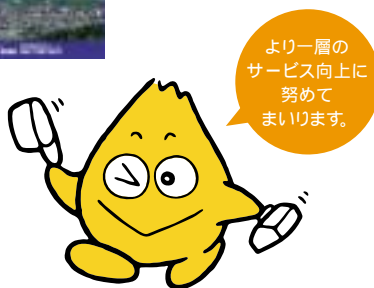


北見支店ショールーム

エネルギーに関するあらゆるニーズにお応えできる総合エネルギーサービス事業を展開し、北国の豊かで快適な暮らしを提案していきます。

また、北見支店内に当社グループ企業の北ガスジェネックス株式会社の北見営業所を併せて開設しました。同営業所は、LPガス、灯油の販売や各種エネルギーシステムの提

案などにより、北ガスグループで進める総合エネルギーサービス事業の一端を担っていきます。



## TOPICS#01

### 札幌・小樽地区の天然ガス転換が完了 引き続き函館地区の転換作業に着手



平成8年にスタートした札幌地区の天然ガス転換作業が、昨年6月に完了、引き続き小樽地区

も昨年12月に完了しました。平成14年に転換を終えた千歳地区も含めて、この9年の間に、道央圏約50万件のお客さまの天然ガス化が無事完了しました。これもひとえにお客さまと関係者の皆さまのご理解・ご協力によるものと心から感謝いたします。本年2月には、函館地区の天然ガス転換を開始、約6万9千件のお客さまを対象に順次作業を進め、本年12月完了予定です。今後とも安全を最優先に着実に作業を進めてまいります。

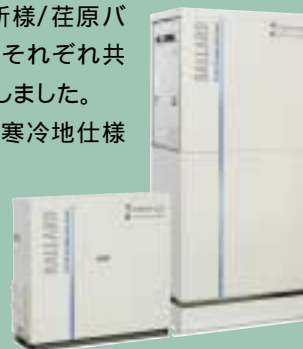
## TOPICS#02

### 家庭用燃料電池 寒冷地仕様機の共同開発

水素と酸素を化学的に反応させ電気と熱を同時に得ることができる燃料電池は、エネルギー効率が高く、環境にやさしい次世代エネルギーシステムとして、実用化が急がれています。

昨年度より経済産業省による「定置用燃料電池大規模実証事業」が全国で展開され、当社も実用化に向け積極的に参画するなか、本年1月より寒冷地用家庭用燃料電池を、松下電器産業株式会社様、株式会社荏原製作所様/荏原バロード株式会社様とそれぞれ共同で開発することとしました。

この共同開発により寒冷地仕様機のモニター台数を増やしながら、2008年度以降の早期市場投入を目指しています。



## TOPICS#03

### ガス料金の値下げおよび原料費調整制度適用の廃止（札幌・小樽・千歳・函館地区）

経営効率化の成果などにより、本年5月1日、ガス料金の値下げを実施しました。すべての料金メニューを対象に、小口部門全体では平均2.5%の値下げとなります。併せて、為替レートや原料価格の変動に応じてガス料金を調整する「原料費調整制度」の適用を廃止しました。これは札幌・小樽・千歳地区の天然ガス転換作業が完了し、都市ガス原料の大部分が苫小牧市勇払地区で産出される天然ガスとなったためです。北海道産天然ガスを主原料とするメリットを最大限に活かし、供給の安定性に加えて価格面でも安心してお使いいただけるよう、努めてまいります。

## 業績の概況(連結)

当期の連結売上高は、都市ガス・LPG事業が堅調に推移したものの、主に器具販売事業、その他の事業の減収により、前期に比べ0.5%減の62,203百万円となりました。一方、費用の面におきましては、経営全般にわたる合理化・効率化に努めましたが、LPG原料の高騰の影響等により、経常利益は前期に比べ21.4%減の1,474百万円となりました。また、特別損失として、投資有価証券評価損および固定資産減損損失を計上した結果、当期純利益は前期に比べ51.1%減の521百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

### 都市ガス事業

ガス販売量は、家庭用については、春先や暖房需要期に気温が低めに推移した影響等により、前期に比べ2.1%増の112百万m<sup>3</sup>となりました。業務用については商業用・工業用等の新規大口物件の獲得が寄与したこと等により、同7.9%増の219百万m<sup>3</sup>となり、合計で同5.9%増の332百万m<sup>3</sup>となりました。

売上高は、大口物件獲得や原料費調整制度の影響等で、同2.7%増の38,617百万円となりました。一方、営業費用は、同0.5%増の34,674百万円となり、営業利益は同26.5%増の3,942百万円となりました。

### LPG事業

売上高は、業務用新規物件の稼働等により、前期に比べ6.0%増の7,214百万円となりました。一方、営業費用は、原料単価の上昇により、同9.3%増の6,891百万円となり、営業利益は同35.9%減の323百万円となりました。

### 受注工事事業

売上高は、導管工事では業務用大型物件の竣工等がありましたが、土木工事、リフォーム工事の減少等が影響し、前期に比べ2.4%減の6,757百万円となりました。一方、営業費用は、同1.6%増の6,928百万円となり、171百万円の営業損失となりました。

### 器具販売事業

売上高は、家庭用コージョネレーションシステム「ECOWILL(エコウィル)」の販売台数増加や新規大型物件獲得等がありましたが、前期に比べ8.8%減の5,741百万円となりました。一方、営業費用は、同2.5%減の5,633百万円となり、営業利益は同79.1%減の107百万円となりました。

### その他の事業

売上高は、店舗用設備等の販売や不動産販売等が減少し、前期に比べ9.9%減の9,353百万円となりました。一方、営業費用は、同7.9%減の9,115百万円となり、営業利益は同50.7%減の238百万円となりました。

各区分に属する主要な事業内容は、以下のとおりです。

都市ガス事業...都市ガスの製造・供給および販売

LPG事業.....プロパンガスの販売

受注工事事業...ガス工事、建築工事、土木工事

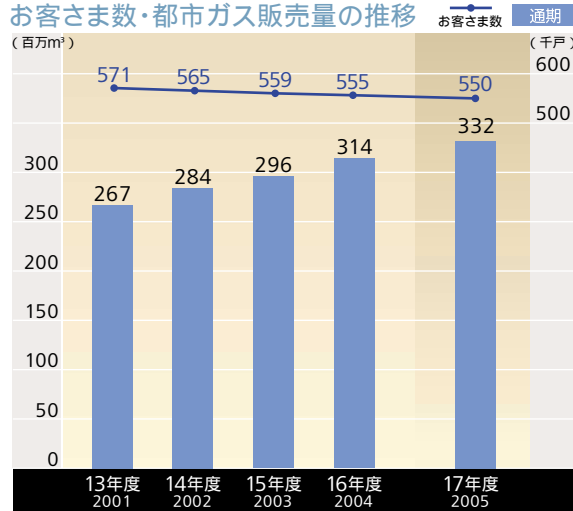
器具販売事業...ガス機器の販売および貸付

その他の事業...石油製品販売、不動産販売、旅行・保険代理業  
照明機器等販売、天然ガス自動車および充填  
ガスの販売、熱供給事業 他

(注)セグメント別の業績数値は、セグメント間取引を含んでおります。

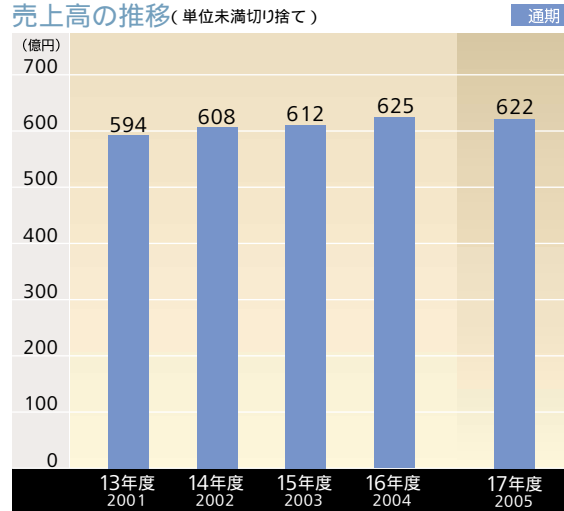


### お客さま数・都市ガス販売量の推移

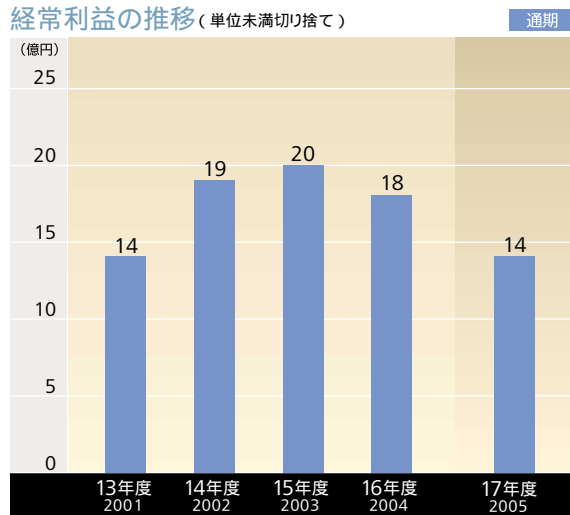


都市ガス販売量は46.04655MJ換算・単位未満切り捨て

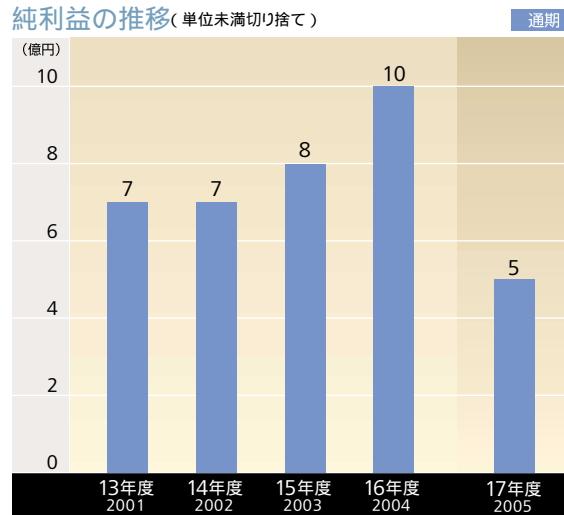
### 売上高の推移 (単位未満切り捨て)



### 経常利益の推移 (単位未満切り捨て)



### 純利益の推移 (単位未満切り捨て)



# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	当 期 (18.3.31)	前 期 (17.3.31)
固定資産	<b>85,943</b>	<b>82,331</b>
有形固定資産	<b>72,927</b>	<b>72,321</b>
製造設備	4,719	3,892
供給設備	48,843	49,305
業務設備	9,609	7,418
その他の設備	8,956	7,256
建設仮勘定	797	4,448
無形固定資産	<b>2,190</b>	<b>2,113</b>
投資その他の資産	<b>10,825</b>	<b>7,896</b>
投資有価証券	6,581	5,446
繰延税金資産	831	1,419
その他	3,553	1,148
貸倒引当金	△ 140	△ 118
流動資産	<b>12,700</b>	<b>14,140</b>
現金及び預金	1,104	1,195
受取手形及び売掛金	6,438	7,349
たな卸資産	2,046	1,309
繰延税金資産	441	370
その他	2,930	4,249
貸倒引当金	△ 260	△ 333
繰延資産	<b>4,775</b>	<b>4,587</b>
開発費	4,761	4,587
その他	14	
資産合計	<b>103,419</b>	<b>101,059</b>

(単位:百万円)

負債の部	当 期 (18.3.31)	前 期 (17.3.31)
固定負債	<b>47,064</b>	<b>56,391</b>
社債	13,000	18,000
転換社債	6,802	6,802
長期借入金	21,889	28,043
再評価に係る繰延税金負債	1,318	152
退職給付引当金	2,603	2,536
役員退職慰労引当金	500	466
ガスホルダー修繕引当金	304	250
その他	646	141
流動負債	<b>28,151</b>	<b>18,455</b>
1年以内に期限到来の固定負債	13,424	6,095
支払手形及び買掛金	4,277	4,080
短期借入金	1,876	1,920
コマーシャル・ペーパー	2,000	
その他	6,572	6,359
負債合計	<b>75,216</b>	<b>74,847</b>

少数株主持分	当 期 (18.3.31)	前 期 (17.3.31)
少数株主持分	<b>40</b>	<b>36</b>

資本の部	当 期 (18.3.31)	前 期 (17.3.31)
資本金	<b>5,037</b>	<b>3,821</b>
資本剰余金	<b>2,797</b>	<b>1,582</b>
利益剰余金	<b>19,881</b>	<b>19,740</b>
土地再評価差額金	△ 888	269
その他有価証券評価差額金	<b>1,404</b>	<b>815</b>
自己株式	△ 70	△ 53
資本合計	<b>28,162</b>	<b>26,175</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	<b>103,419</b>	<b>101,059</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期 (174.1~18.3.31)	前期 (16.4.1~17.3.31)
売上高	62,203	62,538
売上原価	32,935	32,945
売上総利益	29,267	29,593
供給販売費及び一般管理費	27,118	27,097
供給販売費	24,060	24,253
一般管理費	3,058	2,843
営業利益	2,149	2,496
営業外収益	769	787
受取利息	8	6
受取配当金	35	44
賃貸料収入	200	204
熱量変更支援等収入	181	
持分法による投資利益	121	50
その他	221	481
営業外費用	1,444	1,407
支払利息	956	1,110
その他	487	296
経常利益	1,474	1,876
特別利益		475
退職給付制度改定利益		475
特別損失	500	403
投資有価証券評価損	305	
固定資産減損損失	195	
役員退職慰労引当金引当額		403
税金等調整前当期純利益	974	1,947
法人税、住民税及び事業税	262	399
法人税等調整額	186	478
少数株主利益	3	3
当期純利益	521	1,066

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 (174.1~18.3.31)	前期 (16.4.1~17.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,620	11,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,879	△9,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	167	△3,782
現金及び現金同等物の減少額	△ 91	△2,069
現金及び現金同等物の期首残高	1,195	3,264
現金及び現金同等物の期末残高	1,104	1,195

## 主要な連結経営指標

(単位:百万円)

	当期 (174.1~18.3.31)
売上高	62,203
経常利益	1,474
当期純利益	521
株主資本	28,162
総資産	103,419
1株当たり当期純利益(円)	8.30
1株当たり株主資本(円)	404.51
株主資本比率(%)	27.2

# 財務諸表( 単体 )

## 貸借対照表

資産の部	当 期 (18.3.31)	前 期 (17.3.31)
固定資産	<b>77,574</b>	<b>75,623</b>
有形固定資産	<b>65,538</b>	<b>66,734</b>
製造設備	4,719	3,892
供給設備	49,412	49,981
業務設備	9,642	7,457
附帯事業設備	1,020	987
建設仮勘定	742	4,416
無形固定資産	<b>2,050</b>	<b>1,959</b>
営業権	47	
ソフトウェア	1,957	1,914
その他無形固定資産	44	45
投資その他の資産	<b>9,985</b>	<b>6,929</b>
投資有価証券	3,999	3,384
関係会社投資	2,741	2,004
長期前払費用	196	172
繰延税金資産	28	678
前払年金費用	1,878	
その他投資	1,222	761
貸倒引当金	△ 82	△ 71
流動資産	<b>11,802</b>	<b>10,878</b>
現金及び預金	106	91
受取手形	175	236
売掛金	3,571	3,856
関係会社売掛金	473	513
未収入金	272	206
製品	14	12
原料	211	65
貯蔵品	336	314
前払費用	66	1,696
関係会社短期債権	5,793	3,308
繰延税金資産	301	264
工事仕掛原価	563	471
その他流動資産	129	123
貸倒引当金	△214	△283
繰延資産	<b>4,761</b>	<b>4,587</b>
開発費	4,761	4,587
資産合計	<b>94,138</b>	<b>91,089</b>

(単位:百万円)

負債の部	当 期 (18.3.31)	前 期 (17.3.31)
固定負債	<b>45,160</b>	<b>53,575</b>
社債	13,000	18,000
転換社債	6,802	6,802
長期借入金	21,205	26,419
再評価に係る繰延税金負債	1,318	152
退職給付引当金	1,440	1,344
役員退職慰労引当金	500	466
ガスホルダー修繕引当金	304	250
その他固定負債	590	141
流動負債	<b>24,845</b>	<b>15,274</b>
1年以内に期限到来の固定負債	12,984	5,640
買掛金	2,098	1,948
短期借入金	1,676	1,820
未払金	2,240	2,371
未払費用	1,792	1,492
未払法人税等	225	216
前受金	110	123
預り金	60	67
関係会社短期債務	1,643	1,581
コマースャル・ペーパー	2,000	
その他流動負債	14	10
負債合計	<b>70,006</b>	<b>68,850</b>

資本の部	当 期 (18.3.31)	前 期 (17.3.31)
資本金	<b>5,037</b>	<b>3,821</b>
資本剰余金	<b>2,797</b>	<b>1,582</b>
利益剰余金	<b>15,861</b>	<b>15,809</b>
土地再評価差額金	△ 888	269
その他有価証券評価差額金	<b>1,393</b>	<b>810</b>
自己株式	△ 70	△ 53
資本合計	<b>24,131</b>	<b>22,239</b>
負債・資本合計	<b>94,138</b>	<b>91,089</b>

## 損益計算書

(単位:百万円)

	当期 (174.1~18.3.31)	前期 (16.4.1~17.3.31)
製品売上	38,617	37,620
ガス売上	38,617	37,620
売上原価	13,551	13,249
売上総利益	25,065	24,370
供給販売費	21,200	21,355
一般管理費	2,346	2,183
事業利益	1,518	832
営業雑収益	7,051	7,095
受注工事収益	1,718	1,331
器具販売収益	5,305	5,674
その他営業雑収益	26	89
営業雑費用	6,881	6,559
受注工事費用	1,628	1,310
器具販売費用	5,253	5,248
附帯事業収益	1,386	1,334
附帯事業費用	1,245	1,011
営業利益	1,828	1,691
営業外収益	611	692
受取利息	23	8
有価証券利息	0	0
受取配当金	44	56
賃貸料収入	222	224
熱量変更支援等収入	181	
雑収入	137	401
営業外費用	1,421	1,370
支払利息	584	715
社債利息	353	352
新株発行費償却	24	
雑支出	459	302
経常利益	1,018	1,013
特別利益		475
退職給付制度改定利益		475
特別損失	305	403
投資有価証券評価損	305	
役員退職慰労引当金引当額		403
税引前当期純利益	713	1,084
法人税等		
法人税等調整額	285	497
当期純利益	427	587
前期繰越利益	1,063	842
土地再評価差額金取崩額	△ 5	3
当期末処分利益	1,486	1,433

## 利益処分

(単位:百万円)

	当期 (174.1~18.3.31)	前期 (16.4.1~17.3.31)
当期末処分利益	1,486	1,433
これを次のとおり処分いたします。		
配当金 (1株につき)	417 (6円)	369 (6円)
次期繰越利益	1,068	1,063

(注) 配当金につきましては、自己株式(当期253,273株、前期204,754株)を除いて計算しております。

## 主要な経営指標

(単位:百万円)

	当期 (174.1~18.3.31)
売上高	47,054
経常利益	1,018
当期純利益	427
株主資本	24,131
総資産	94,138
1株当たり当期純利益(円)	6.85
1株当たり株主資本(円)	346.67
株主資本比率(%)	25.6

(注) 売上高の内訳は、ガス売上高、受注工事収益、器具販売収益、その他営業雑収益、附帯事業収益となっております。



# 会社の概況(2006年3月31日現在)

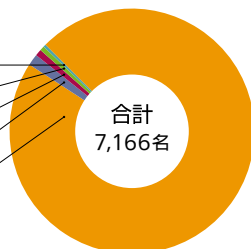
## 主な事業の内容

ガスの製造・供給および販売  
 ガス器具の販売およびこれに関連する建設工事

## 株式分布状況

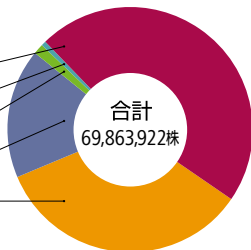
### 株主数構成比

■証券会社 0.33%  
 ■外国法人等 0.60%  
 ■金融機関 0.87%  
 ■その他法人 1.52%  
 ■個人その他 96.68%



### 株式数構成比

■金融機関 46.80%  
 ■証券会社 0.63%  
 ■外国法人等 1.36%  
 ■その他法人 17.10%  
 ■個人その他 34.11%



(注)個人その他には自己名義株式を、その他法人には政府・地方公共団体および証券保管振替機構名義株式をそれぞれ含めております。

## 主な事業所

本社……………札幌市中央区大通西7丁目3番地1  
 小樽支店……………小樽市入船4丁目33-1  
 函館支店・函館工場……………函館市万代町8-1  
 函館みなと工場……………函館市港町3丁目19-8  
 千歳支店……………千歳市清水町1丁目1-1

(注)北見市のガス事業譲り受けに伴い、平成18年4月1日付で北見支店および北見工場を開業いたしました。

## 株式の状況

資本金 5,037,827,757円  
 会社が発行する株式の総数 160,000,000株  
 発行済株式の総数 69,863,922株  
 株主総数 7,166名  
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	5,310	7.60
第一生命保険相互会社	5,000	7.15
東京瓦斯株式会社	4,274	6.11
株式会社北洋銀行	3,006	4.30
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	2,629	3.76
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,316	3.31
札幌市	2,244	3.21
北海道信用農業協同組合連合会	2,000	2.86
株式会社北海道銀行	2,000	2.86
明治安田生命保険相互会社	1,450	2.07

(注)みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数2,629千株は、株式会社みずほ銀行が委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は、株式会社みずほ銀行が留保しております。

## 役員(2006年6月29日現在)

代表取締役会長…佐々木 正丞 取締役……………伊藤 亨  
 代表取締役社長…前泉 洋三 取締役……………野田 雅生  
 代表取締役……………大槻 博 常勤監査役……………井川 洋  
 取締役……………濱多 悟 常勤監査役……………越前谷 正俊  
 取締役……………花坂 耕治 監査役……………安達 正治  
 取締役……………岡崎 哲哉 監査役……………高橋 賢治  
 取締役……………丸子 彰 監査役……………河村 耕作

(注)1.伊藤 亨氏、野田 雅生氏は、社外取締役です。  
 2.井川 洋氏、高橋 賢治氏、河村 耕作氏は、社外監査役です。

# グループ会社の紹介(2006年3月31日現在)



連結決算情報をご報告するにあたり、  
当社の連結会社をご紹介します。  
昨年9月には(株)エナジーソリューションが  
新しく仲間入りしました。  
今後とも、グループ各社共々  
どうぞよろしく申し上げます。

## 連結子会社ピックアップ

### 天然ガス自動車北海道株式会社

環境に優しい天然ガス自動車の普及  
を目指して平成8年に設立し、販売か  
ら天然ガススタンドの運営など天然ガ  
ス自動車に関する業務を行っています。  
天然ガス自動車は、北海道産天然ガ  
スの利用により安定供給、安定価格で  
ご利用いただける点でも注目されており、今後  
も快適な生活環境創造に貢



献していきます。

その他にも以下のグループ会社がございます。

持分法適用非連結子会社	持分法適用関連会社	持分法非適用非連結子会社
北東住設機器(株)	ケージセントラルスポーツ(株)	(株)エフ・シー・プラン
石狩サービス(株)	(株)北海道熱供給公社	(株)北ガス建設ホームサービス
北ガスシステムサポート(株)	(株)サッポロエネルギーサービス	(株)寿楽
(株)小樽ガス住設	(株)日石プロパン供給センター	
(株)エネッセル		

## コラム: ガスで快適



POWER  
COOKING

北ガススクッキングスクール統括主任講師 坂井美恵子

## 魚介類のパエリア

- ① 米は炊く30分前に洗って、水をきっておきます。
- ② 鍋にあさり貝・白ワイン・ローリエを入れ強火にかけ蓋をして沸騰したら鍋を2～3回動かし、火を止め蒸らします。煮汁は、布こしをします。
- ③ いかは皮を取り1cm幅の輪切り、ほたては半分に切り、えびは尾を残して殻・背ワタははずし、ピーマン・玉ねぎ・ベーコンは1cm角に切ります。
- ④ フライパンにオリーブ油を入れ、にんにくの香りが出たところで魚介類・白ワインを加えて炒め、塩・こしょう・ピーマンをいれて火を止め、皿に取り出し煮汁を別にします。
- ⑤ 浅鍋にサラダ油を熱し、玉ねぎを炒め、ベーコン、バターを入れ、米を加えて炒めて熱くなったらトマトケチャップ・サフラン・パプリカを入れ、熱いスープを注ぎ、を上にのせすぐにアルミホイルで蓋をして、中火から弱火にして12～13分炊き、火を止め、10分程度蒸らします。

### ポイント!

ブイヨンスープに煮汁を入れて炊くことによりまみが増します。  
米を炒めてから具をのせスープを入れたらすぐにアルミホイルで蓋をしない  
と水分が蒸発してしまいます。  
仕上げにオープンに入れると、表面がパリッとして、よりいっそうおいしくなります。

## 🔥 パワークッキング 🔥

材 料(6人分)

米	カップ3杯	玉ねぎ	1/2個
あさり貝	300g	ベーコン	3枚
白ワイン	70ml	バター	30g
ローリエ	1枚	トマトケチャップ	大さじ1杯
いか	1パック	サフラン	小さじ1杯
ほたて	6個	パプリカ	小さじ1/3杯
えび	6尾	サラダ油	大さじ1杯
赤ピーマン	1個	ブイヨンスープ	600ml
青ピーマン	1個	(との煮汁)	
みじんんにく	小さじ1杯	塩	小さじ1/2杯強
オリーブ油	大さじ1杯	レモン	1個
白ワイン	50ml	カップ1杯=200ml	
塩・こしょう	少々	大さじ1杯=15ml	
		小さじ1杯=5ml	

## 株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
剰余金の期末配当の基準日 毎年3月31日  
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
同事務取扱所 郵便番号 168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社  
証券代行部  
☎0120-78-2031  
各種手続き用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。  
☎0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)  
【URL】[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)  
同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店  
公 告 掲 載 紙 日本経済新聞  
上 場 取 引 所 東京証券取引所・札幌証券取引所

\*\*\*\* 配当金のお受け取りは安全・便利な口座振込で \*\*\*\*

## 配当金振込制度のご案内

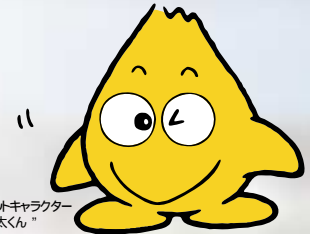
株主さまご所有の株式に対する配当金をご指定の銀行口座もしくは郵便貯金口座(通常貯金口座)へ直接入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振込先をご指定いただきますと、配当金のお支払いが決議されたつど、ご指定の口座へ自動的にお振り込みいたします。ご希望の株主さまは、上記事務取扱所あてに配当金振込指定書をご請求のうえ、お申し込みください。

北海道ガス  
ホームページアドレス

<http://www.hokkaido-gas.co.jp/>

## 将来見通しに関わる記述についての注意事項

本事業報告書で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しのみで全面的に依拠することは避けさせていただきますようお願いいたします。また、本事業報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関するご判断は、ご自身にてなされますようお願いいたします。



北ガスマスコットキャラクター  
“てんたんくん”



あったかを、あなたに、街に、そして未来に。

# 北海道ガス株式会社



古紙配合率 100%再生紙を使用しています



この事業報告書は、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。